

| | | | | | |
|------|-----------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 対)中国語中級 A | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 程 遠巍 | 開講期・曜日・時限 | 前期 月曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2年生 |

主題と概要

「言語や社会」、「中国語A」や「中国語B」で学んだことを復習しながら、さらに新しい単語や表現、文法事項を学びます。この授業では主に「聞く能力」「会話能力」を身につけることに重点をおきます。

到達目標

1. HSK3級、または中国語検定4級に合格するレベルの聞く能力と話す能力を身に付ける。
 2. 基本的な語彙や文法事項を用いた簡単な中国語の会話を聞いて理解できる。
 3. 自分の身の回りのことや日常生活に関わる事柄を自ら表現できる。
- 本科目は対面を原則とする科目です。オンラインでの受講では、到達目標を達成するのが難しい科目であるため、オンデマンドでは開講しません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者や、濃厚接触者に指定され一時的に通学が禁止となった学生には、別途個別に対応します。

提出課題

練習問題の解答の提出を求めます。
口頭発表の課題を状況に応じて課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題などを添削してから、返却します。

評価の基準

平常評価（出席・受講態度・課題の提出など） 30点
課題1の提出 30点
課題2の提出 40点

履修にあたっての注意・助言他

ペアやまわりの仲間と一緒にコミュニケーション活動にチャレンジしていきます。予習をしっかりして、積極的にタスクを遂行しましょう。

教科書

| | | | | |
|---------------------|--------|-------|------|-------------------|
| .ことばと文化 一歩両得 中級中国語. | 陳淑梅・陸薇 | 朝日出版社 | 2200 | 978-4-255-45289-0 |
|---------------------|--------|-------|------|-------------------|

参考図書

.なし.

その他

授業中に指示します。

授業計画

1. オリエンテーションと自己紹介
2. 第1課 大学生生活
3. 第2課 大学の作息時間
4. 第3課 単飯
5. 第4課 喝茶
6. 第5課 飲食
7. 第6課 生活習慣
8. 第7課 交通
9. 第8課 校園節
10. 第9課 体育
11. 第10課 歌舞伎和京剧
12. 第11課 方言
13. 第12課 儀礼上の習慣
14. 第13課 過年
15. 第14課 年轻人的婚事

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習： 120分 （次回学習予定の内容）
復習： 120分 （今回学習した内容）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」素質・能力を育み、言語部に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成業の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考